

旧マッケンジー住宅が舞台!

みんな元気だ!

三世代家族写真展



平成27年度
旧マッケンジー住宅顕彰事業

旧マッケンジー住宅を舞台に、親、子、孫の三世代を撮影した家族写真を静岡市内各所で巡回展示します。

日常の劇的な写真をユニークに撮影することで定評のある、静岡市在住の写真家 杉山雅彦氏が手掛けた一切合成なしの作品をご覧ください。

巡回展スケジュール

- ① 旧マッケンジー住宅
(駿河区高松2852番地)
9/19(土)~10/25(日)
- ② アピタ静岡店2階東側連絡通路
(駿河区石田1丁目5番地1号)
10/30(金)~11/29(日)
- ③ 静岡市役所静岡庁舎
新館1階ラウンジ
(葵区追手町5番1号)
12/22(火)~12/28(月)
- ④ 静岡市役所清水庁舎
1階経済局PRコーナー
(清水区旭町6番8号)
平成28年1/6(水)~1/12(火)

*ただし、①休館日、
③④(土・日・祝)閉庁日を除く

撮影：写真家 杉山雅彦

♦ 入場無料 ♦

撮影：杉山雅彦

主催：静岡市

企画・制作・お問い合わせ：



公益財団法人
静岡市文化振興財団
Shizuoka City Cultural Promotion Foundation

TEL:054-255-4746

みんな元気だ！三世代家族写真展

巡回展

■登録有形文化財である【旧マッケンジー住宅】を舞台に、親、子、孫の三世代家族を集めた家族写真展を開催いたします。本写真展は、日常の劇的瞬間をユニークに撮影することで定評のある写真家【杉山雅彦】氏による撮影で、静岡市内在住の13家族が被写体として撮影に臨みました。各家族は、写真の中にストーリーを設定し、それを杉山雅彦氏の演出のもと演じています。各家族のいきいきとした表情は、見ている私たちに元気を与えてくれます。

この機会に、旧マッケンジー住宅の趣ある雰囲気もご一緒にご堪能ください。



写真家 杉山雅彦プロフィール

1972年生まれ・静岡県静岡市出身・在住。静岡の写真スタジオ「フォトスタジオピース」の代表。合成をせず、実際に演じてもらい、劇的な瞬間を撮る作品が、まるで日本アニメの一場面のようなので、その作風を「ジャパニメーションフォト」と名付け、インパクトのある写真を撮り続けている。2011年にグランシップで行なった「企業戦士サラリーマンダム写真展」には1200人が入場し話題になる。静岡のお仕事を撮り続けている「コドモンデ」は写真集になり静岡の書店で販売中。最近は「だいいちテレビ」など、大手テレビ局のポスター写真も手がけている。静岡市商工会議所冊「Sing」の毎月の表紙写真を撮影。ラグビーの家族写真で「2014年写真年賀状大賞」を受賞。お弁当どんどんのTVCに出演。全国で活躍中。

【書籍】劇場型集合写真で見る「コドモンデ」まちのお仕事図鑑(2013年2月発行)

【フォトスタジオピースHP】<http://pspeace.net/>



旧マッケンジー住宅とは

旧マッケンジー住宅は、静岡市駿河区高松の海岸沿いに建つ、白い壁が美しい洋館です。この屋敷に住んでいたダンカン・J・マッケンジーとエミリー・M・マッケンジーの夫妻は、大正7年にアメリカから来静して、日本茶業界の発展に貢献した人物です。富士山が好きだった夫妻は、昭和15年に富士山のよく見える高松の海辺を選んで自宅を建設しました。

昭和47年に夫人が帰国する際に屋敷の敷地の半分が静岡市に寄贈され、残り半分と建物は静岡市が買い取りました。現在は一般に公開されています。

■本展覧会は、旧マッケンジー住宅の顕彰事業のため、安全や文化財の保護を確保しながら、特別に許可を得て撮影を行っております。

<旧マッケンジー住宅のご案内>

住所: 静岡市駿河区高松 2852番地

電話: 054-237-0573

開館時間: 午前9時~午後4時30分

月曜休館

祝休日は開館、翌平日休館

入場無料

旧マッケンジー住宅は、静岡市駿河区高松の海岸沿いに建つ、白い壁が美しい洋館です。この屋敷に住んでいたダンカン・J・マッケンジーとエミリー・M・マッケンジーの夫妻は、大正7年にアメリカから来静して、日本茶業界の発展に貢献した人物です。富士山が好きだった夫妻は、昭和15年に富士山のよく見える高松の海辺を選んで自宅を建設しました。

昭和47年に夫人が帰国する際に屋敷の敷地の半分が静岡市に寄贈され、残り半分と建物は静岡市が買い取りました。現在は一般に公開されています。

■本展覧会は、旧マッケンジー住宅の顕彰事業のため、安全や文化財の保護を確保しながら、特別に許可を得て撮影を行っております。

行き方

バス: しづてつジャストライナバス石田街道線、「浜敷地」または「敷地北」下車、徒歩5分。

車: 下図矢印のとおりに進入してください。国道150号線から右折進入はできません。駐車スペースに限りがあるため、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

